

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/26

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.94	-0.59
JPY/THB	0.2351	-0.0010
USD/JPY	144.37	-1.92
EUR/THB	37.99	-0.38
EUR/USD	1.1192	0.0080
USD/CNH	7.116	-0.031
SGD/THB	26.06	-0.27
AUD/THB	23.07	-0.08
USD/INR	83.90	-0.05
USD Index	100.72	-0.79

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.311	0.002
10Y (THB)	2.570	0.007
5Y (USD)	3.649	-0.068
10Y (USD)	3.799	-0.053

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,508.4	29.5
WTI (Oil)	74.83	1.82
Copper	9,288.5	158.0

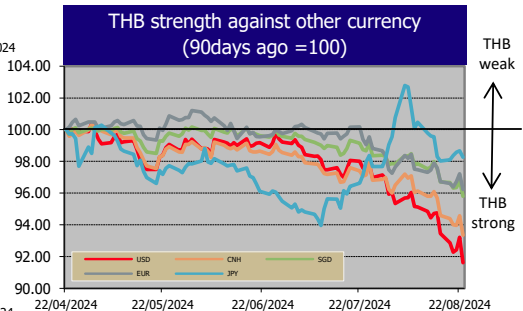
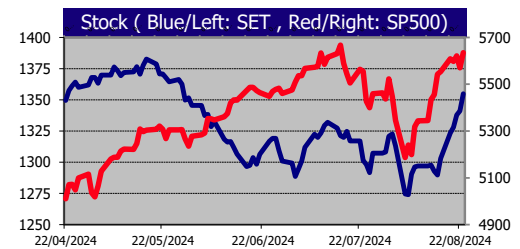
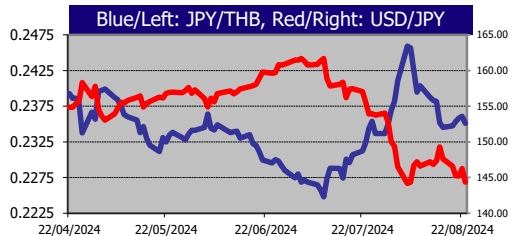
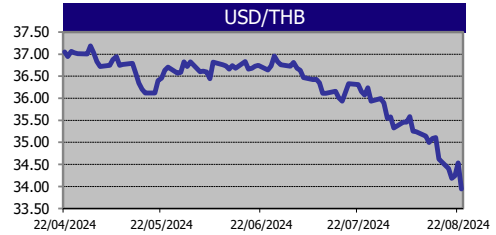
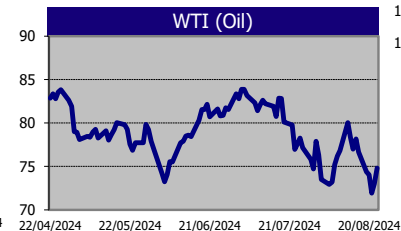
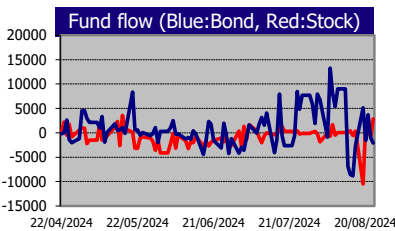
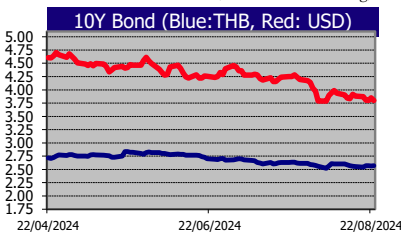
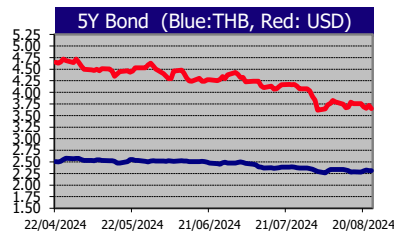
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,354.87	13.84
NIKKEI (JP)	38,364.27	153.26
DOW (US)	41,175.08	462.30
S&P500 (US)	5,634.61	63.97
SHCOMP (CN)	2,854.37	5.60
DAX(GER)	18,633.10	139.71

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,843	3692.0
Bond net flow	(2,087)	-1052.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・23日(金)のドルパーツは下落。34パーツ台半ばの水準で取引を開始。インドネシアルピアを中心にアジア通貨が対ドルで堅調な推移を見せる中、ドルパーツも上値重く推移。34パーツ台前半の水準まで下落し、同水準で海外時間に渡ると、注目されたジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演にて、「調整の時は来た。方向性は明確だ」との発言が確認され、市場は米金利低下、ドル売りで反応。ドルパーツも下落幅を拡大させ、終盤にかけて34パーツを割り込む動きを見せると、そのまま33.94レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・23日(金)のドル円は下落。146円台前半の水準で取引を開始。植田・日銀総裁が国会閉会中審査において、「経済、物価実現の確度の高まりが確認できれば、金融緩和の度合いを調整する姿勢は変わらない」と発言し、円買いが進行。ドル円は145円台前半まで下落するも、その後、金融政策に対する考え方について「私と内田・日銀副総裁に違いはない」とも述べ、ドル円の下落は同水準でストップする展開に。海外勢が参入してくると一時146円台前半まで戻す場面が見られるも、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言を受けて急落。終盤にかけて144円台前半まで下落する動きを見せ、そのまま144.37レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

注目されたジャクソンホール会議は、パウエルFRB議長の「時が来た」という非常に印象に残るフレーズと共に、重要な転換点を迎え、米金融当局の焦点がインフレから労働市場のリスクに移ったことを示した。パウエルFRB議長講演は、全体的にハト派的なトーンでFRB当局が労働市場を支え、経済の底上げを図るためにできることは全て行う方針を示した。また、現実を少し確認する必要があるとも述べ、調整余地を残した。インフレ圧力に対する米金融当局の約2年に及ぶ闘いにおける重要なターニングポイントとなるが、FRBの2つの責務のもう一方の部分である労働市場を巡るリスクとの闘いとなる。雇用の伸びは個人消費の下支えに寄与することから、景気拡大を確保する上で鍵を握ろう。スワップ市場では、9月での利下げ開始が明確となる中、25bp利下げを完全に織り込み、更に約30%の確率で50bpの利下げを織り込む状況。茲許、ドルの先安感が強まる流れが続きやすく、ドル安進行が想定以上に速まるリスクには警戒が必要となろう。(前川)